



2021年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年9月6日

上場会社名 アイ・ケイ・ケイ株式会社
 コード番号 2198 URL <https://www.ikk-grp.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理部長
 四半期報告書提出予定日 2021年9月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 村田 裕紀
 (氏名) 田中 慶彦
 TEL 050-3539-1122

(百万円未満切捨て)

1. 2021年10月期第3四半期の連結業績(2020年11月1日～2021年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年10月期第3四半期	7,800	1.8	△1,681	—	△836	—	△858	—
2020年10月期第3四半期	7,659	△45.9	△2,527	—	△2,510	—	△1,793	—

(注)包括利益 2021年10月期第3四半期 △847百万円 (—%) 2020年10月期第3四半期 △1,830百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年10月期第3四半期	△29.32	—
2020年10月期第3四半期	△60.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年10月期第3四半期	17,063	7,140	41.7
2020年10月期	17,898	7,923	44.1

(参考)自己資本 2021年10月期第3四半期 7,114百万円 2020年10月期 7,887百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年10月期	—	0.00	—	—	—
2021年10月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)2021年10月期期末配当金につきましては、現時点では未定としております。

3. 2021年10月期の連結業績予想(2020年11月1日～2021年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,191	28.0	△1,964	—	△957	—	△987	—	△33.67

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注)連結業績予想につきましては、本日(2021年9月6日)公表いたしました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) — 、 除外 — 社 (社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年10月期3Q	29,956,800 株	2020年10月期	29,956,800 株
② 期末自己株式数	2021年10月期3Q	607,073 株	2020年10月期	735,864 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年10月期3Q	29,281,749 株	2020年10月期3Q	29,697,926 株

(注)自己株式については、当四半期連結会計期間末にアイ・ケイ・ケイ従業員持株会専用信託が所有する540,800株を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年11月1日から2021年7月31日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、度重なる「緊急事態宣言」及び「まん延防止等重点措置」が発出される中、引き続き社会活動全般で多岐に亘る厳しい制限を受け、停滞を余儀なくされてきました。

また、国外ではワクチン接種が進み経済活動が再開する動きがみられる一方、国内ではワクチン接種の遅延や変異株の感染が拡大しており、警戒感や閉塞感から依然として先行きも不透明な状況にあります。

ウェディング業界におきましても、「人との接触を避け、外出を自粛」する等、安全を第一に置いた消費者意識の広がりから、挙式・披露宴の延期や集客イベントの開催中止等、取り巻く経営環境は依然厳しい状況が続いています。

このような状況の下、当社グループは、お客さまと社員の安全・安心を最優先事項と考え、「新型コロナウイルス感染防止ガイドライン」に基づき最大限の感染防止対策を徹底したうえで挙式・披露宴を実施すると同時に全社を挙げたコスト削減施策を推し進め、業績の回復に努めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,800百万円(前年同四半期比1.8%増)、営業損失は1,681百万円(前年同四半期は2,527百万円の営業損失)、経常損失は836百万円(同2,510百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は858百万円(同1,793百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 婚礼事業

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、度重なる「緊急事態宣言」及び「まん延防止等重点措置」が発出される中、感染防止対策を徹底したうえで挙式・披露宴を実施してまいりました。

その結果、前年同期と比較し、婚礼組数が増加したことから、売上高は7,352百万円(前年同四半期比1.2%増)、営業損失は1,724百万円(前年同四半期は2,570百万円の営業損失)となりました。

② 介護事業

売上高は411百万円(前年同四半期比3.5%増)、営業利益は35百万円(同15.6%減)となりました。

③ 食品事業

前連結会計年度(2020年10月)に食品事業を展開する子会社を設立し、売上高は90百万円、営業利益は6百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ834百万円減少し17,063百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1,059百万円増加し、未収還付法人税等が873百万円、流動資産その他が275百万円、有形固定資産が725百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ52百万円減少し9,922百万円となりました。これは主に、買掛金が287百万円、短期借入金が100百万円、賞与引当金が52百万円、流動負債その他が236百万円それぞれ増加し、長期借入金が748百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ782百万円減少し7,140百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失858百万円の計上による減少であります。以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.4ポイント下降し41.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年10月期の連結業績予想については、新型コロナウイルス感染症の再拡大等で合理的な算出が困難であることから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測に基づき業績予想を算出しました。詳細につきましては、本日(2021年9月6日)公表いたしました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,873,191	2,932,751
売掛金	144,519	255,236
商品	339,695	341,444
原材料及び貯蔵品	67,174	60,447
未収還付法人税等	873,897	—
その他	521,440	245,600
貸倒引当金	△2,701	△3,858
流動資産合計	3,817,216	3,831,620
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,081,468	8,526,482
土地	1,850,919	1,850,919
その他(純額)	585,837	414,993
有形固定資産合計	11,518,225	10,792,394
無形固定資産	138,298	155,553
投資その他の資産		
差入保証金	1,746,822	1,634,711
その他	677,794	649,305
投資その他の資産合計	2,424,616	2,284,016
固定資産合計	14,081,140	13,231,964
資産合計	17,898,356	17,063,585
負債の部		
流動負債		
買掛金	221,248	509,146
短期借入金	2,000,000	2,100,000
1年内返済予定の長期借入金	1,029,552	836,704
未払法人税等	952	33,177
賞与引当金	100,468	152,595
その他	1,786,665	2,023,426
流動負債合計	5,138,888	5,655,049
固定負債		
長期借入金	3,198,097	2,642,505
退職給付に係る負債	38,382	37,786
ポイント引当金	16,600	17,073
資産除去債務	1,027,852	1,036,063
その他	555,191	534,400
固定負債合計	4,836,123	4,267,828
負債合計	9,975,011	9,922,877

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	351,655	351,655
資本剰余金	355,794	351,731
利益剰余金	7,641,563	6,783,100
自己株式	△433,629	△357,575
株主資本合計	7,915,385	7,128,912
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	21,479	18,134
為替換算調整勘定	△49,397	△32,549
その他の包括利益累計額合計	△27,917	△14,414
非支配株主持分	35,877	26,209
純資産合計	7,923,345	7,140,707
負債純資産合計	17,898,356	17,063,585

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年7月31日)
売上高	7,659,251	7,800,568
売上原価	3,857,025	3,488,997
売上総利益	3,802,226	4,311,570
販売費及び一般管理費	6,330,062	5,993,382
営業損失(△)	△2,527,836	△1,681,811
営業外収益		
受取利息	14,283	10,673
雇用調整助成金	—	798,611
その他	21,093	59,260
営業外収益合計	35,377	868,546
営業外費用		
支払利息	13,495	17,743
その他	4,085	5,263
営業外費用合計	17,580	23,006
経常損失(△)	△2,510,040	△836,272
特別利益		
補助金収入	6,028	—
特別利益合計	6,028	—
特別損失		
固定資産除却損	26,571	3,410
特別損失合計	26,571	3,410
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,530,583	△839,682
法人税、住民税及び事業税	21,319	11,189
法人税等調整額	△763,760	11,892
法人税等合計	△742,441	23,081
四半期純損失(△)	△1,788,142	△862,764
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	5,031	△4,301
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,793,173	△858,463

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年7月31日)
四半期純損失(△)	△1,788,142	△862,764
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	△3,200	△3,358
為替換算調整勘定	△38,767	18,601
その他の包括利益合計	△41,967	15,243
四半期包括利益	△1,830,109	△847,521
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,831,265	△844,960
非支配株主に係る四半期包括利益	1,156	△2,560

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

当社グループにおいては、新型コロナウイルス感染症拡大及び一部地域において度重なる「緊急事態宣言」及び「まん延防止等重点措置」が発出されたことを踏まえ、お客さまと社員の安全・安心を最優先事項と考え、最大限の感染防止対策を施した上で挙式・披露宴を実施しております。

新型コロナウイルス感染症の変異株の感染が拡大しており、収束時期等を予測することは現時点においては困難であります。当該感染症へのワクチン接種が国内でも開始された状況も勘案し、本年末から来年にかけて業績も徐々に回復するものと仮定して固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性等の見積りを行っております。

なお、前連結会計年度末の仮定について重要な変更を行っておりませんが、当該感染症による影響は不確定要素が多く、今後の感染拡大により、社会経済活動の停滞が長期化する場合は、当連結会計年度の当社グループの財政状態及び経営成績に影響を与える可能性があります。

(持株会社への移行、吸収分割契約の締結)

当社は、2020年12月14日開催の取締役会において、当社が完全子会社として新たに設立したアイ・ケイ・ケイ分割準備会社株式会社（以下、「分割準備会社」といいます。）に対して当社の婚礼事業を承継させる吸収分割を行うため、分割準備会社との間で吸収分割契約を締結することを決議し、同日分割準備会社との間で吸収分割契約を締結いたしました。

なお、持株会社体制への移行につきましては、2021年1月28日開催の定時株主総会において関連議案が承認可決されました。

その後、吸収分割に向けて詳細な協議を進めておりましたが、2021年4月26日開催の取締役会において、本吸収分割を延期することを決議し、同日付で変更契約を締結いたしました。

1. 持株会社体制への移行の目的

当社は、経営ビジョン「VISION2035 一人ひとりがリーダーとして、数多くの分野から選択・挑戦し新たな世界企業を創る」の達成に向け、機動的な事業戦略の実行や、優秀な人財の採用と人財育成を目的として、持株会社体制への移行を決定しました。

今後は、新規事業の立ち上げやM&Aの加速により、社長となり得る人財の採用と育成に力を注ぎ、次世代の社長を多数輩出すると共に、事業会社の経営をコーポレートガバナンスの観点から持株会社が監視・監督してまいります。

2. 持株会社体制への移行及び吸収分割契約の要旨

(1) 本吸収分割契約の日程

分割準備会社設立	2020年11月6日
本吸収分割契約承認取締役会	2020年12月14日
本吸収分割契約締結	2020年12月14日
本吸収分割契約承認定時株主総会	2021年1月28日
本吸収分割効力発生日変更承認取締役会	2021年4月26日
本吸収分割効力発生日変更契約締結	2021年4月26日
本吸収分割効力発生日	2021年11月1日（予定）

(2) 本吸収分割契約の方式

当社を吸収分割会社、分割準備会社を吸収分割承継会社とし、当社の婚礼事業（以下、「本事業」といいます。）に関して有する権利義務を分割準備会社に承継させる吸収分割により行います。

(3) 本吸収分割契約に係る割当の内容

本吸収分割契約に際して、分割準備会社は、普通株式2,000株を発行し、その全部を分割会社である、当社に割当て交付いたします。

(4) 本吸収分割契約に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

(5) 本吸収分割契約により増減する資本金

当社の資本金の増減はありません。

(6) 分割準備会社が承継する権利義務

分割準備会社は、本吸収分割契約の定めに従い、効力発生日において当社に属する本事業に関する資産、債務、その他の権利義務（ただし、本吸収分割契約において別段の定めがあるものを除きます。）を、当社から承継します。

なお、分割準備会社が当社から承継する債務については、重畳的債務引受の方法によるものといたします。

(7) 債務履行の見込み

本吸収分割契約後、分割準備会社の資産の額は、負債の額を上回ることが見込まれており、また分割準備会社が負担すべき債務の履行に支障を及ぼす事態は、現在のところ想定されていないことから、本吸収分割後においても、分割準備会社の債務の履行の見込みに問題はないと判断しております。

3. 本件分割当事会社の概要

(1) 分割会社

名称	アイ・ケイ・ケイ株式会社
所在地	佐賀県伊万里市新天町722番地5
代表者	代表取締役社長 村田 裕紀
事業内容	婚礼事業
決算期	10月末
資本金	351,655千円
純資産	7,570,262千円
総資産	17,249,076千円

(2) 承継会社

名称	アイ・ケイ・ケイ分割準備会社株式会社
所在地	佐賀県伊万里市新天町722番地5
代表者	代表取締役社長 村田 裕紀
事業内容	婚礼事業
決算期	10月末
資本金	50,000千円
純資産	99,413千円
総資産	99,449千円